

事務所ニュース

労働保険事務組合
第一労務協会
京都市西京区嵐山富ノ北町8番18
TEL. (075) 864-3336
FAX. (075) 864-3367
〒616-0025

社会保険労務士 光 木 事 務 所

ス ポ ッ ト

社員が被害者の場合に限る

セクハラ定義の正確な理解を

なまはげ行事で鬼に扮した参加者が、女性に性的ないたずらを行うという笑うに笑えない事件が起きました。成人式でハメを外す若者と同様に、祭りの開放感に酔って良からぬ気持ちを起こしたのでしょうか。

一部報道の「なまはげがセクハラ」という見出しは確かに読者の興味を引きますが、用語の使い方としてはやや不正確なところがあります。均等法第一条では、「事業主は、職場において行われる性的な言動に対し、(略)雇用管理上必要な措置を講じなければならない」と定めています。

セクハラ指針では、労働者が意に反する性的言動に抵抗等したため、

上司等から不利益を受ける「対価型セクハラ」と、性的な言動により就業環境が害される「環境型セクハラ」の二類型を挙げています。なまはげ事件で被害にあった女性は、このどちらにも該当しないでしょう。均等法は労働関係法令ですから、当然のことながら、対象とするのは「職場における性的言動」に限られます。

なぜ、報道でセクハラということばが使われたかという点、鬼に扮した人は一般人の入れないような場所に立ち入ることができるし、女性の側も「痴漢です」と騒ぎ立てにくいという状況があるからでしょう。

公権力というとおおげさですが、権威を笠にきた性的行為という意味

では、「対価型セクハラ」に近い印象もあります。そこで、あえて比喩的に用いたのかも知れません。

顧客の自宅で、セールス担当者等が顧客から性的な嫌がらせを受けるのは、セクハラに該当します(平一八・一〇・一一雇発第一〇一一〇〇二号)。しかし、販売員等が顧客に悪ふざけをするのは痴漢行為で、軽犯罪の範疇に属します。

職場内で非違行為が発生すれば、当然、会社は厳しい懲戒を科すべきですが、性的ニュアンスがあればすべてセクハラと思って処理すると、チグハグな事態も起こりかねないので、注意が必要ですよ。

2008

3

役職手当の水準

知って得する



賃金実務

日本経団連の「〇六年定期賃金調査」(どちらかという大企業中心の調査)によると、部長手当の平均は九万五、三二六円、課長の人が部長に抜擢されると約三万七、〇〇〇円、賃金がアップします。責任も重くなりますが、金額的にも昇職の重みを実感できます。

会社の経営が比較的シンプルな時代には、上司の責任は「部下の管理」が中心でした。仕事がよくでき、仕事の中身をよく知っている人にポストを与え、部下を管理させるわけです。ポストの数は、会社の人数に応じて、おのずと決

役割手当は、悩ましい賃金項目です。あまり金額が小さいと、肩書きの「重み」がなくなりそうです。しかし、現代の組織には、ラインの長以外にも重要なポストがたくさんあります。「管理する」人にだけ多額の手当を支払えば、他のスタッフの意欲が高まりません。適切な金額設定は、意外に難しい問題です。

まってくる。こうしたピラミッド型の組織が維持されていれば、役割手当は合理的な賃金項目とい

部下を持つ責任を評価 スタッフ職増加で混乱

えます。

しかし、「部下を管理する人」だけが、会社の経営上、重要な役割を果たしているのでしょうか。技術開発部門で、天才肌だけど気難しいAさんと、頭脳は人並みだけれど気配り十分なBさんがい

たとします。知識豊富で、リーダーシップもある部長さんが定年退職したとき、経営者は、二人とも「帯に短し、たすきに長し」です。が、むしろBさんを後任に選ぶのではないのでしょうか。このとき、役割手当で大きな差ができれば、Aさんの気持ちが収まります。

会社の命運をかけるプロジェクト・チームを立ち上げるとき、数ある課長の中で、一番の切れ者Cさんをプロジェクト・リーダーに選んだとします。当然、ラインの

課長職からは外れますが、この際、役割手当がばったりカットされたら、本人のやる気が高まるでしょうか。

現代の会社では、企画・立案・調査・分析の仕事が、管理の仕事と同様に重要で、そうした人を厚

遇する仕組みが求められます。

「だったら、天才肌のAさんには部長の肩書き、切れ者のCさんには課長の肩書きを与え、手当を支給すれば良いじゃないか」、これは役職者だけが偉いという古い観念を引きずった折衷案で、根本的な解決策ではありません。

職能資格制度が普及したとき、賃金は資格に応じて払い、ラインの役職者には小額の役割手当を上乗せするという方式が考案されました。しかし、手当が小額なだけ、役職の重みを感じられなくなりました。

最近では、役職の名称ではなく、各人の役割等級を決め、それに応じて賃金を支払うという会社も増えていきます。部長、課長という肩書きも、他の企画・立案・調査・分析職の肩書きと同じ一つの記号で、直接、賃金とは連動しないという考え方です。ここまで思い切るのが、日本の序列社会の風土になじむのか、これは今後の推移を見守るべきでしょう。